

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.08.18-08.29

*記事は東京発行・最終版

CHINA

8月18日(月)

センサー、中国第3工場
生産ライン用/パナデバイスSUNX
パナソニックデバイスSUNXは、生産ライン用センサー類の開発・生産体制を増強する。2015年秋までに兵庫県に研究開発棟を新設。中国・江蘇省の子会社には第3工場を建設する。(1面)

8月19日(火)

中国電信のサーバーに移行
アップル/ユーザーのデータ
アップルは、中国本土のユーザーのデータをチャイナ・テレコム(中国電信)が運用するサーバーに移し始めた。情報のセキュリティに関する懸念を表明している中国当局に対応。(3面)

エコカー急増2万5946台
EV1万3829台/PHV5027台
中国工業情報化省は、電気自動車やハイブリッド車などエコカーの1-7月の生産が2万5946台と、前年同期比で急増した。EVは1万3829台。PHVは5027台。前年の10倍。(時事=6面)

ベンツ、独禁法違反の疑い
補修部品の価格つり上げ
江蘇省で独占禁止法違反の調査当局者は独タイムラー「メルセデス・ベンツ」の現地販売店が、不正に補修部品の価格を釣り上げている証拠が見つかったと明らかにした。(時事=6面)

株式の大規模売却で収益悪化
中国・大手銀行
中国の大手銀行は、利益の伸びが約10年で最も低い水準にとどまる見通し、与信ブーム後の資本増強を目的とした過去最大規模の株式売却で収益がさらに損なわれる恐れがある。(17面)

8月20日(水)

規制緩和の波 - 中国全土へ
上海 南部・内陸部
中国の現代版「改革開放特区」で知られる「上海自由貿易試験区」の運営手法が



豊田通商などがインドで経営する病院では、日本人看護師による人材育成にも取り組んでいる(18日付)

地方へ広がっている。南部の福建省や内陸部の四川省などが外資系企業に対する規制緩和策を導入。(3面)

日中貿易 - 赤字最大
1-6月/1兆2600億円
2014年1-6月期の日中貿易は、日本側が123億1024万ドル(約1兆2600億円)の赤字となった。対中貿易赤字は前年同期比37%増え、1995年以降過去最大。日本貿易振興機構まとめ。(3面)

メディア界を再編
習近平国家主席/新型グループ
中国の習近平国家主席は、「強大な実力や発信力、信頼、影響力を備えるいくつかの新型メディアグループを形成する必要がある」と述べ、メディア界を再編する方針を示した。(時事=3面)

小型多関節ロボ、中国で生産
ダイヘン/年産600台
ダイヘンは、溶接などで使う小型多関節ロボットの中国生産を始めた。同ロボットの海外生産は初。年産600台。小型ロボットの中国市場で断然トップのシェアを狙う。(7面)

8月21日(木)

日系部品12社に罰金200億円
独禁法違反/過去最大
中国国家発展改革委員会は、日本の自

カンボジア最大手行に出資
三井住友銀行/邦銀で初
三井住友銀行は、業務提携関係にあるカンボジア最大手のアクレダ銀行の発行済み株式12.25%を取得する。大手邦銀がカンボジアの銀行に出資するのは初めて。(3面)

東洋インキ、インド新工場稼働
オフセット用/年産1万ト
東洋インキSCホールディングスは、インドのグジャラート州ダヘジ市に新設したオフセット印刷インクを製造するグジャラート工場が稼働した。年産能力は約1万ト。(13面)

アイシンAW、タイ進出検討
FR用AT生産
アイシンAWは、自動変速機(AT)の販売台数を2020年度に47.1%増の1000万台に拡大する。同社初となるタイでの現地生産も検討する。タイでは後輪駆動車(FR)用ATを生産する。(5面)

ミネベア、タイで増産
家電向け軸受/月500万個新ライン
ミネベアは、タイのバンパイン工場で家電向け小径玉軸受「608シリーズ」を増産する。新興国などで高級家電の需要増。月産500万個の新ラインを新設。工場全体で月産2億5000万個。(7面)

工業用洗剤、アジア拡大
ADEKAクリーンエイド
ADEKAクリーンエイドは、主力の業務・工業用洗剤のアジア展開を拡大する。事業拡大で先行する中国に続き、台湾と韓国でも販売を増やして2-3年後に現地生産。(11面)

シリコン廃液リサイクル工場
台湾/アマタが建設
アマタは、台湾でシリコンを含んだ廃液から金属シリコンと潤滑液を製造するリサイクル工場を建設する。金属シリコンは鉄鋼メーカー、潤滑液は太陽電池用のシリコンウエハーメーカーに。(12面)

8月21日(木)

パナホーム、台湾家電と提携
マンション/設計・施工請負
パナホームが、台湾大手家電メーカー聲寶(サンボ)グループとマンション事業

ASIA

8月18日(月)

商社 - アジアで病院運営
病院を中核/医療・健康で展開
大手商社が、アジアで病院運営事業に乗り出している。物流機能などを組み込むことで、病院を中核とした医療・健康分野として展開し、アジアで拡大する医療需要を取り込む。(深層断面=22面)

自動車補修部品12%成長
ASEAN3国/環境規制など
インドネシア、タイ、マレーシアの自動車補修部品市場が2010-18年に年平均12.9%成長すると予測した。フロスト&サリバン調べ。環境規制などによりメンテナンス需要が伸びる。(7面)

8月19日(火)

フィリピンに熱視線
コンビニ・外食/1000万人増
日本の外食産業やコンビニエンスストアが、ASEANの中でもフィリピンに熱視線を送っている。5年で1000万人増える見通し。人口の増加は「胃袋」が増えることを指し、有望な市場に。(3面)



フィリピンの食品消費額は年9%で成長(ブルームバーグ)

マレーシアでエチレン製造設備
東洋エンジ/2400億円
東洋エンジエンジニアリングは、マレーシア国営石油会社ペトロナスの子会社から、計画中のエチレン製造設備などの設計・調達・建設を受注。受注額は約2400億円。同社単独案件では過去最大。(6面)

ベトナムでガス層
出光・JX開発・国際帝石
出光興産、JX日鉱日石開発、国際石油開発帝石、ベトナム・ホーチミン市の南東300キロメートルの海上でガス・コンデンセート層を発見した。ベトナム国営石油公社と契約し探鉱活動。(14面)

クリーニングでカンボジア進出
ティブラン/日本式高品質仕上げ
ティブランは、クリーニングとリネン・サプライで、カンボジアに進出。日系ショッピングモールに日本式の高品質仕上げのクリーニング店。現地ホテルなどにリネン・サプライ。(27面)

タイ進出コンサル値下げ
TEKNIA/7割減
TEKNIAは、タイ進出を検討している中小企業への会員制コンサルティンクの料金体系を値下げ。会員は7割減の年18万円。検討の初期段階にある企業でも参加しやすくなった。(8面)

インド競争委員会は、マルチ・スズキやトヨタ自動車、ホンダ、日産自動車の日系4社を含む14社に、補修部品などの取引で公正な競争を妨げたとして合計約433億円の制裁金を科す。(5面)

8月25日(月)

クボタ、インドの農機テコ入れ
現地主力/50馬力トラクター投入
クボタは、インドの農業機械事業をテコ入れする。現地事情に適切に、運搬にも使える40-50馬力のトラクターを2015年度に投入。これに合わせてインド北部に進出、同地域で50-60の販売店網。(7面)

台湾・委託生産 国内に移管
コンテック/産業用コンピューター
コンテックは、台湾で委託している産業用コンピューターの生産の一部を愛知県小牧市に移管する。小牧に生産効率を約30%改善した多品種少量生産に適したセル生産ラインを新設する。(9面)

山陽特殊鋼、タイに工場
ベアリング用旋削リング
山陽特殊製鋼は、タイに新会社を設立し、ベアリング用旋削リングの生産販売に乗り出す。非鋼材事業強化の一環で、

吉利汽車、販売を大幅下方修正
58万台 43万台
中国・吉利汽車は、2014年の販売台数目標を58万台から43万台に引き下げた。日系各社を除けば、成長が続く近年の中国自動車市場で販売目標を大幅に下方修正するのは異例。(時事=5面)

三菱電機、昇降機工場を増設
年産倍増2万台/高級機種
三菱電機は、上海市に昇降機の工場を来夏までに二つ増設し年産能力を2万台に倍増する。総投資額は約20億円。高級機種の昇降機を生産し、高層ビルなどに供給する。(8面)

三菱化学、LED蛍光体増産
中国2倍/小田原2割増
三菱化学は、LEDの色を調整する蛍光体の生産能力を2015年度までに中国で倍増する。LED照明メーカーの中国生産拠点向けの需要が急増。小田原工場でも蛍光体生産を2割増やす。(13面)

8月26日(火)

中国製OS、10月にも
米国製OS対抗/中国工程院
中国の研究機関・中国工程院の倪光南研究員は、国産コンピューターOSの開発に10月にも成功する可能性があると明らかにした。米国製OSに対抗できるOSに拳国体制。(時事=3面)

ロータリー除雪車4台受注
新潟トランス/輸出は珍しい
新潟トランスは、中国の政府系機関からロータリー除雪車4台を受注した。受注額は1億円前後。ロータリー除雪車は国や地域により求められる性能が異なるため、輸出は珍しい。(9面)



ロータリー除雪車(新潟トランス)

8月26日(火)

韓国LCC、仁川-大分便
9月24日から週2便
韓国の格安航空会社ティーウェイ航空は、ソウル・仁川空港と大分空港を結ぶ路線を9月24日から就航する。週2便で、韓国からの観光客が増える冬ダイヤでは週4便にする。(3面)

タイ・カシコン銀行と協定
東京都と都中小企業振興公社
東京都と都中小企業振興公社は、タイ・カシコン銀行と、都内中小企業の海外展開支援で業務連携・協力に関する覚書。生産委託先の選定や現地営業拠点の設置などを支援する。(17面)

8月27日(水)

クボタ、インドの農機テコ入れ
現地主力/50馬力トラクター投入
クボタは、インドの農業機械事業をテコ入れする。現地事情に適切に、運搬にも使える40-50馬力のトラクターを2015年度に投入。これに合わせてインド北部に進出、同地域で50-60の販売店網。(7面)

台湾・委託生産 国内に移管
コンテック/産業用コンピューター
コンテックは、台湾で委託している産業用コンピューターの生産の一部を愛知県小牧市に移管する。小牧に生産効率を約30%改善した多品種少量生産に適したセル生産ラインを新設する。(9面)

8月28日(木)

日系4社などに制裁金433億円
補修部品で競争を妨げる
インド競争委員会は、マルチ・スズキやトヨタ自動車、ホンダ、日産自動車の日系4社を含む14社に、補修部品などの取引で公正な競争を妨げたとして合計約433億円の制裁金を科す。(5面)

清華大付属病院と臨床検査連携
三菱ケミカルHD傘下
三菱ケミカルHD傘下のLSIメディアエンスは、清華大学付属病院、北京清華長庚医院の検査部門と臨床検査分野で連携。第1弾は治療薬の選定に重要な役割を担う遺伝子検査室を共同構築。(17面)

ゴミ収集車、中国で増産
モリタエコノス/年2500台
モリタエコノスは、ゴミ収集車や衛生車など特装車を生産する中国の合弁工場を2016年にも移転・拡張する。新工場は面積約4.7倍、年産能力を1200-1300台から倍増する。(5面)

デンソー、合肥達因に出資
コンプレッサー/世界で販売
デンソーは、中国の大手カーエアコン用市販コンプレッサーメーカー・合肥達因汽車空調に出資した。合肥達因が生産し同社販売網で中国、北米、欧州など世界で販売。(5面)

鬼怒川ゴム、中国で設計・開発
車部品/欧米・現地メーカー向け
鬼怒川ゴム工業は、中国で自動車部品の設計開発から品質保証まで一貫して対応できる体制の構築に乗り出す。試験設備を増強、製品設計を可能に。欧米や現地自動車メーカーへ拡販。(5面)

ミネベア、中国合弁
中級軸受/現地の自動車開拓
ミネベアは、浙江省に現地軸受メーカーとの合弁会社を設立した。全事業を引き継ぎ、中国産の中級軸受で現地の自動車分野などを開拓する。現在手がけていない中級軸受市場にも進出。(3面)

エクセディ、全自動化ライン
中国・タイ/クラッチ部品
エクセディは、海外工場に手動変速機用クラッチ部品の全自動化ラインの導入を2016年にも始める。MT部品を製造するタイや中国などの新興国では労務コスト

三井造船、ベトナム合弁稼働
プラント向けプロセス機器
三井造船は、ベトナムで石油精製・石油化学プラント向けのプロセス機器製造合弁会社が稼働した。東南アジアで建設されるプラント向けに圧力容器などのプロセス機器。(6面)

日本フッソ、タイに進出
プラント設備コーティング/大型対応
日本フッソ工業は、石油プラントや化学プラントなど大型生産設備のフッソ樹脂コーティング・ライニングでタイに進出。大型加工に対応、間口4x4m、長さ10mの大型対応炉を導入。(7面)

三菱商事、インドネシア茶系飲料
現地大手と合弁/現地生産も
三菱商事は、インドネシアで清涼飲料事業に参入する。タイの大手飲料会社であるイチタン・グループと飲料製造販売会社を設立。イチタンの茶系飲料を販売、2016年から現地生産。(16面)

UDトラックス、整備拡充
インドネシア/部品倉庫・新拠点
UDトラックスは、インドネシアで販売やアフターサービス体制を拡充する。東カリマンタン州に部品倉庫を建設するほか、東ジャワ州で2店舗目となる販売・整備拠点を開設した。(8面)

日産、アジア7月12%減
東南ア主要3市場すべて減少
日産自動車は、7月にアジア・大洋州(日本、中国本土、インドを除く)で販売した新車は2万1580台で、前年同月比12%減った。東南アジアの主要3市場はすべて減少した。(8面)

山陽特殊鋼、タイに工場
ベアリング用旋削リング
山陽特殊製鋼は、タイに新会社を設立し、ベアリング用旋削リングの生産販売に乗り出す。非鋼材事業強化の一環で、

クボタ、インドの農機テコ入れ
現地主力/50馬力トラクター投入
クボタは、インドの農業機械事業をテコ入れする。現地事情に適切に、運搬にも使える40-50馬力のトラクターを2015年度に投入。これに合わせてインド北部に進出、同地域で50-60の販売店網。(7面)

台湾・委託生産 国内に移管
コンテック/産業用コンピューター
コンテックは、台湾で委託している産業用コンピューターの生産の一部を愛知県小牧市に移管する。小牧に生産効率を約30%改善した多品種少量生産に適したセル生産ラインを新設する。(9面)

山陽特殊鋼、タイに工場
ベアリング用旋削リング
山陽特殊製鋼は、タイに新会社を設立し、ベアリング用旋削リングの生産販売に乗り出す。非鋼材事業強化の一環で、

今回は - 「中国・アジア ダイジェスト」面の次回は15日(月)に掲載します。

ト上昇への対応が大きな課題。(8面)

東風、第4工場に認可
プジョーとの合弁/四川省成都
東風汽車と仏プジョー・シトロエン・グループの合弁・神龍汽車有限公司が、四川省成都市に建設を決めた第4工場に地元当局から認可を受けた。国営新華社通信が報じた。(時事=8面)

上海汽車、上期18%増益
新車販売286万台(20日5面)
アップル端末用バス路線アプリ
上海市(21日5面)

天津にゴミ焼却発電プラント完成
日立造船(26日7面)
北京の医院と検査分野で連携
LSIメディアエンス(26日12面)

ひと
西へ西へ - 中国開拓航路
「中国内陸部もだいぶ発展してきた」と、パナソニックデバイスSUNX社長の荒谷悦司さん。需要増を受け、江蘇省蘇州市の製造子会社に新棟を設けてF4機器を増産する。「大都市以外に、内陸部にも広げたい」と意気込む。中国開拓の航路は西へ、西へ。(22日=9面)

中国ではTD LTE
「LTEアドバンスド関連は引き続き好調」と、アンリツ取締役執行役員 窪田顕文さん。LTEの次世代規格対応端末開発用計測器がアジアで順調に売れている。「中国ではTD LTEが活況」と、中国のLTEの1規格向けもけん引している。(25日=8面)

江門川合成、タイに新工場
塗料/量産品
江門川合成は、本社敷地内で進めていた事務棟の新築と塗料製品製造工場の改装を完了。タイに設立した生産子会社の9月稼働に合わせて、体制整備。タイ工場では量産品の製造が主体。(33面)

京都銀行、ベトナム商銀と提携
進出取引先145社・216拠点
京都銀行は、ベトナムの民間商業銀行のエグジティブと業務提携の覚書を交わした。京都銀行の取引先にはベトナムへ進出している企業はすでに145社・216拠点あり、要望が高まっていた。(23面)

関東のラオスの水力発電に655億円
JIBCなど(20日15面)
台湾製ウイスキー輸入販売
エマナック、異業種から参入(20日25面)

日清食品、インドネシア社株取得
即席めん事業加速(21日3面)
アジア12大学と連携を本格化
岐阜大学(25日19面)

新開空会社、タイ空港社と提携
ネットワーク強化(29日20面)

ひと
アジア共闘を
「日本もわが国もアジアプレミアムを払っている。解消に向けて両国は手を取り合い、協力できる」と、シンガポール政府エネルギー市場監理ディレクターのジョナサン・ゴーさん。LNGの取引ハブ(中心地)創設については、アジア共闘を呼びかける。(21日=13面)

クボタ、インドの農機テコ入れ
現地主力/50馬力トラクター投入
クボタは、インドの農業機械事業をテコ入れする。現地事情に適切に、運搬にも使える40-50馬力のトラクターを2015年度に投入。これに合わせてインド北部に進出、同地域で50-60の販売店網。(7面)

台湾・委託生産 国内に移管
コンテック/産業用コンピューター
コンテックは、台湾で委託している産業用コンピューターの生産の一部を愛知県小牧市に移管する。小牧に生産効率を約30%改善した多品種少量生産に適したセル生産ラインを新設する。(9面)

山陽特殊鋼、タイに工場
ベアリング用旋削リング
山陽特殊製鋼は、タイに新会社を設立し、ベアリング用旋削リングの生産販売に乗り出す。非鋼材事業強化の一環で、

100年経営の会

会員企業募集中 (入会資格は、創業60年以上)

100年経営の会 「閉塞感を打開する原動力に」
日本には創業100年以上の企業が2万社以上あります。
長寿企業の多くは持続的な成長を目指す独自の経営理念を持ち、顧客や従業員、地域社会との結びつきを大切にしています。日刊工業新聞社は2011年に長寿企業に学ぶ「100年経営の会」を立ち上げました。本会の趣旨は多くの危機を乗り越えてきた経営を長寿経営として理論化し情報発信することです。会員企業の歴史から長年培われた日本型経営の優れた点を探っております。

「100年経営の会」に関するお問い合わせ・お申し込み先
100年経営の会事務局 TEL 03-5644-7608
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (日刊工業新聞社内) FAX 03-5644-7209
100年経営の会 検索

活動内容
■ 勉強会の定期開催 「長寿経営」の理論化を目指し、アカデミズムとも連携しながら勉強会を月に1回程度開催していきます。長寿企業の経営者や若手、創業の精神(経営理念や経営哲学)、環境変化に対応するための変化(事業転換や技術革新、本業と新規事業の関係性)、リスクマネジメント、ブランド力、事業継承、地域社会との関わりなど、さまざまな角度から分析し、知的資産経営をベースに体系化し、経営論の構築を目指します。一定の調査内容がまとまった段階で、日刊工業新聞紙上で研究成果を報道します。

■ 長寿経営の価値の普及活動
シンポジウムの開催 大型シンポジウムを計画するほか、地方都市でも地元自治体や団体などと連携し、地域密着型のシンポジウムを開催します。100年以上持続発展してきたような長寿経営企業から、創業の精神や理念の持続をはじめ、危機克服の経験、環境変化に対するイノベーションなどを学び合い、知的資産経営論をベースに長寿経営の魅力を広く国内外に発信します。
情報発信事業 ホームページの運営で国内外へ長寿経営の価値を情報発信します。映像化などにも取り組み、ウェブなどでの情報運用を展開します。また、日刊工業新聞など日刊工業新聞社が有する各種媒体と連携した情報発信も積極的に行います。

■ 長寿経営企業の顕彰事業
創業100年を迎えた企業の顕彰制度創設に取り組みます。制度の設計など具体的な準備を進め、早期実施を目指します。
■ 海外の長寿企業や団体などとの連携
海外の長寿企業の経営を調査、分析するほか、類似の団体との連携関係の構築を進めます。

「長寿経営の価値の普及活動」